

# 2024年12月議会審議日程

	曜	会議	場所	備考
12月4日	水	本会議	議場	議案提案・総括質疑
12月5日	木	文教経済常任委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (上野議員担当)
12月6日	金	厚生常任委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (平良木議員担当)
12月9日	月	農政建設常任委員会	第一委員会室	付託案件の審査
12月10日	火	総務常任委員会	第一委員会室	付託案件の審査 (橋爪議員担当)
12月11日	水	本会議	議場	一般質問
12月12日	木	本会議	議場	
12月13日	金	本会議	議場	※ 各議員の質問日は、 追ってご案内いたします
12月16日	月	本会議	議場	
12月18日	水	本会議	議場	議案採決など

## 12月4日から12月定例議会 命と暮らしを守る立場で論戦に挑みます

今年最後の定例議会、12月議会が4～18日に行われます。引き続き物価高など、暮らしが追い詰められている中での議会ですので、市としてどのような姿勢で市民の命と暮らしを守るかをめぐる論戦が期待される議会です。

日本共産党議員団は、前回9月議会において、中川市長に対する不信任決議案に賛同する立場でした。したがって、“辞職すべき中川市長が提案する議案”に対する審議となることから、市長提案議案や市長の政策に対しては基本的に一定の距離を置く姿勢で臨みました。

しかし、12月議会からは、市民の命と暮らしを守ることを最優先にして、「良い提案には積極的に賛同、悪い提案は徹底的に批判」という

立場を貫きながら積極的な議論を行うほか、一般質問では、市長に対しても市民目線で積極的に政策論戦を挑みます。

### 日本共産党上越市議員団ニュース

No.851 2024年12月1日

連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
 絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
 先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))  
 ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

# 遠州灘沿岸に国内最大級17.5kmの防潮堤 市議会災害対策特別委員会が浜松市沿岸域防潮堤を視察

市議会災害対策特別委員会(橋爪法一議員が所属)はこのほど、静岡県浜松市の遠州灘沿岸に建設された国内最大級の防潮堤を視察しました。橋爪議員のレポートでお伝えします。

\*\*\*\*\*

19日に災害対策特別委員会の視察で訪れた浜松市の防潮堤について報告します。

この防潮堤は「静岡モデル」とも言われるほど注目されており、2012年に事業着手、2020年に竣工しました。天竜川河口から浜名湖までの沿岸域17.5kmの長さです。コンクリート造りかと思ったら、ダム技術を活用したCSG工法(現地の土石とセメント、水を混合して造る工法)でした。使用した土砂は400万m<sup>3</sup>。高さは高いところで15m、自然を生かした大規模な堤防といった造りで、これだと景観上も問題も少なくなると感じました。総工費は



331億円ですが、そのうち300億円は地元の一条工務店グループの寄付だといいますから驚きです。

説明役は浜松土木事務所の徳増沿岸整備課長さんでした。徳増さんは、パワーポイントを使って、「最低限、人の命を助けることを目的とした防潮堤だ。“みんなで作ろう防潮堤市民の会、など地元住民と連携した取組の中で事業を進めた。津波対策だけでなく、生物多様性ホットスポットなどを重視している」と説明しました。ここはアカウミガメの産卵地であることを初めて知りました。

現場事務所での説明を聞いた後、防潮堤に上り、説明を続けていただきました。15mの高さまで上がると、延長17.5kmの防潮堤全体が見えるんですね。西の方向はかすんでいるところもありましたが、目印となる建造物は確認できました。

実際に津波が押し寄せた時にどんなふうになるかは予想できませんでしたが、強大な盾となることは確かです。海には適度の波が押し寄せていて、サーフィン愛好者が30人近く海に入っていました。景観はまずまずでした。

## 議 会あれこれ

### ④一議員報酬一

議会をめぐって意外に市民の関心が高いのが議員報酬の額です。上越市議会では、議長531,000円、副議長469,800円、議員442,100円で、所得税などが天引きされて毎月21日に振り込まれます。

一般の会社員等との最大の違いは、協会けんぽや共済組合には加入できず、国民健康保険や国民年金であることです。そのため、雇用者負担がなく、保険料は全額自己負担です。逆には、扶養手当や時間外勤務手当などの手当は一切ありません。なお、議員年金は2011年に廃止されました。

その他に慣例としてほぼ全員が加入する議員連盟や各種団体がありその会費も天引きされるため、実際の“手取り”は一般議員で30万円弱です。これは30代の公務員と同水準とされています。